

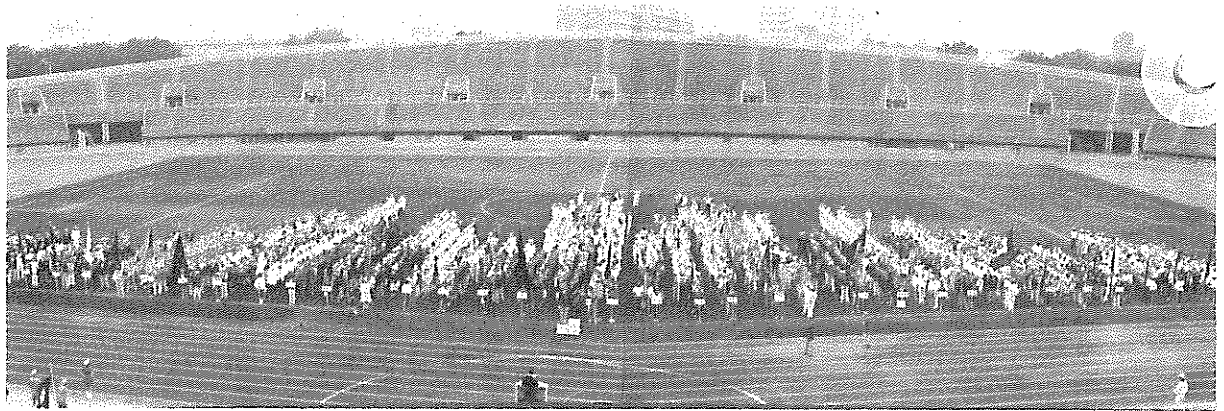
# 練馬区体育協会 ニュース

加盟 (財) 東京都体育協会

第 9 号

創立 昭和24年10月(1949)

発行 昭和54年 7 月20日



## 総合開会式

### 第 10 回 東京都民体育大会

柔道・二年連続三回目の優勝を達成  
男子総合十六位・女子総合二十六位  
五十一区郡市・一三〇〇〇人が集う

春季大会の総合開会式は、五月二十六日(日)駒沢陸上競技場に於いて挙行された。

練馬区は、男子二十一競技、女子五競技に二九二名の代表が出場した。開会式には前田鉄男団長以下五十名が参加・堂々の行進を行った。

#### 区関係、表彰

- ・団体 練馬区空手道連盟
- ・個人 滝沢栄吉氏

開会式終了後、各競技とも一せいに熱戦の火ぶたを切った。

練馬区代表選手は、各種目で善戦、ベストをつくしたが、前年に比べ、各種目ともふるわず、特に男女とも総合成績で大巾に後退と云う結果に終わった。

不振の中で、柔道競技は、二年連続(三回目)優勝と云う偉業をなした。入賞種目は自転車(三位、クレール射撃が五位、駅伝が七位、女子でバスケットが四位と健闘した。非得点種目でローラースケートが三位、銃剣道が四位に入賞した。

六月十日、全競技終了、午後二時より岸記念体育館、講堂に於て閉会式が開催され、男子総合優勝

の世田谷区、女子総合優勝の杉並区に高松宮殿下より優勝杯が授与され大会の幕を閉じた。

#### 区郡市別得点表

男子	女子
1位 世田谷区 一〇五・〇	1位 杉並区 六三・五
2位 大田区 九四・五	2位 世田谷区 五〇・五
3位 千代田区 八七・五	3位 千代田区 四九・〇
4位 渋谷区 八六・〇	4位 品川区 四〇・五
5位 台東区 八三・五	5位 台東区 三八・五
6位 品川区 七六・〇	6位 大田区 三七・五
7位 杉並区 七五・五	7位 中野区 三五・五
8位 墨田区 七一・五	8位 目黒区 三三・五
16位 練馬区 四八・〇	26位 練馬区 一〇・五
※ 前年11位 五七・三七	※ 前年19位 一六・〇

# 競技別・成績表

柔道・墨田区を降し  
堂々、二年連続優勝を飾る

五月二十七日 講義館 四〇区市  
一回戦 不戦勝  
二回戦  
練馬2-1 東大和  
三回戦  
練馬1-1 大田 (内容勝ち)  
四回戦  
練馬1-0 福生  
準決勝  
練馬2-1 府中  
決勝  
練馬1-1 墨田  
代表戦1本勝

試合は初段一名、二段一名、三段一名計三名編成による団体トーナメントだけに優勝・特に連続優勝は本当にむずかしい。区代表は、自衛隊の玄馬弘初段、久木原俊満二段は二年連続出場、大將には吉田選手に代って、佐久間接骨院勤務の中大OB浅生正人三段が出場した。監督に市毛富士穂六段があり、背水のメンバ―であった。先峰の玄馬選手は新婚の奥さんの声援にも答え、四戦とも一本勝ち、決勝は相手の怪我により不戦勝と大活躍、常に試合の流れを有利に導いた。

一本勝ち、大田は技有り、四回戦の福生戦は1対0、準決勝の府中戦は2対1と順調に勝利を収め、決勝戦にのぞいた。  
決勝はAブロックから上って来た墨田区との対戦となった。先峰は相手選手の怪我から不戦勝・中堅久木選手が引分け、1対0で大將戦となった。大熱戦、役員鹿沼くのもつれあい、浅生選手に一瞬の油断があったが、左払巻き込みをかけられ場外へ倒れた。副審は場外の相図をし、主審は一本を宣した。場内は一時、騒然!! 副審からの意見具申もなく、1対1となる。従って優勝決定のための大將戦で雌雄を決定することになった。浅生選手は、不覚の一本負けにこの再選に対し斗志満々、積極的な試合を展開、時間半の四分・中央でもつれあいから大外返し、文句のない一本勝ち、この瞬間、練馬区の連覇、三回目の優勝が決定した。決勝戦で見事に大將としての責任を果した浅生三段の斗志と、玄馬初段の切り抜きが勝負と云えよう。優勝と云う大任を果し、その期待にぞつことが出来、監督として、三選手の建斗に敬意を表する次第です。 (毛富士穂)

サッカー  
五月二十七日 駒沢補助競技場  
参加三十九区郡市

練馬区1-0 〇〇  
1-1 1港区

PK戦 2-4  
ライフル射撃  
五月二十日 朝霞射撃場  
参加三十一区郡市

団体総合十八位  
SB3P 香西俊輔 五・一六  
SBP 戸田武夫 五・四一  
ARS 川崎啓之 三・六一  
AP 内田英昭 三・五五  
APP 川崎啓之 五・四一  
ARP 遠藤英行 五・六三  
\* 川崎選手は個人第五位

相撲  
五月二十七日 靖国神社相撲場  
参加十区市

予選  
練馬 2-3 墨田  
練馬 2-3 新宿  
練馬 3-2 台東  
一勝二敗、勝点七  
決勝トーナメント

練馬 2-3 大田  
剣道  
五月二十七日 品川区立体育館  
参加四十区郡市

一回戦  
練馬 3-2 青梅  
二回戦  
練馬 3-2 板橋  
三回戦

練馬 2-3 武蔵野市  
弓道  
五月二十七日 駒沢弓道場  
参加四十三区郡市

練馬 2-3 三鷹  
本年四月より実施の新審判方によって実施された。第四ブロックで初戦は青梅市と対戦、先峰二本を先取されたが、続く次峰、中堅と危げなく勝ち大將戦にもち込む。大將羽角六段は睡くノトと先取、二回戦に駒をすゝめる。板橋区と対戦は先峰泰初段、次峰有元二段、獲得宇多川四段と三者が勝ち順調にすゝむ。三回戦は三鷹市との対戦、先峰一本勝ち、次峰は延長の末、勝ち、残り三人の中、一人の勝利で準々決勝進出と云う出足だった。しかし不運にも中堅、副將大將と連敗、試合を逆転され無念の涙をのんだ。

(監督 松村幸男)  
卓球  
五月二十七日 東京体育館  
参加四十六区郡市

男子二回戦  
練馬 3-1 板橋区  
三回戦  
練馬 1-3 杉並  
女子一回戦  
練馬 1-3 武蔵野市

練馬チーム、出場者計6名  
一名八射(内二名四射)  
計四〇射 内二〇射適中  
板倉 登 八射四中  
浅野共生 射五中

純中国料理  
新麒麟大飯店  
練馬区豊玉北5-17  
TEL(994)2233(代)

炉ばた焼  
権兵衛  
豊玉北5-17  
TEL(994)3583

共栄信用金庫  
豊玉北5-14-3  
TEL(993)4311

白井竹四郎 八射六中  
 岩崎 吉宏 四射〇中  
 日置 悟 四射二中  
 後藤 敏 八射三中  
 全参加チーム中より二四適中が予選通過資格となった為、選外と終る。

**卓球**

五月二十七日 東京体育館

参加 男子 四七 郡市  
 女子 四三 区郡市

男子 二回戦

練馬 3-1 板橋  
 高木 2-0  
 安藤 0-2  
 川上 2-1  
 小川 2-1

三回戦  
 練馬 1-3 杉並  
 高橋 0-2  
 安藤 2-1  
 川上 1-2  
 小川 0-2

女子 一回戦

練馬 1-3 武蔵野市  
 渡辺 2-0  
 見立 1-2  
 狩野 1-2  
 仲山 1-2

**軟式陸球**

五月二十七日・六月二日

駒沢公園テニスコート(男)  
 世田谷区立テニスコート(女)

参加 男子四十二区郡市  
 女子三十九区郡市

男子 一回戦  
 練馬 2-3 江戸川  
 予定した二十七日が雷雨のため中止、六月二日に延期されたこと、当日が土曜日で選手の掌握に苦勞した。

女子 一回戦

練馬 3-0 田無市  
 二回戦  
 練馬 3-0 東久留米市  
 三回戦

練馬 2-0 渋谷  
 一般二チーム、家庭婦人二チームで編成、現在の練馬区ではベストメンバーで参加した。一回戦、二回戦と順調に勝ち進んだが、三回戦で強敵渋谷と当り、善戦健斗、よく頑張ったが、敗退した。

**バレーボール**

五月二十六日・女子 四十二地区  
 多摩スポーツセンター

五月二十七日 男子 三十九地区  
 足立区立スポーツセンター  
 男子 一回戦  
 練馬 10-21  
 (石東中) 16-21 2幕飾

女子 一回戦

練馬 13-21  
 (ひかり) 18-21 2町田

**空手道**

六月三日 駒沢体育館

一回戦 参加四十一区郡市  
 練馬 2-1 日野市  
 杉田 1 篠原〇  
 〇下園 1 日野

稲垣 1 日野  
 〇高津 1 金井  
 渡辺 1 服部  
 二回戦  
 練馬 3-1 荒川区  
 〇佐々木 1 貝塚  
 〇下園 1 清宮  
 稲垣 1 杉山〇  
 高津 1 X 三井ライオン  
 〇渡辺 1 服部  
 三回戦  
 練馬 2-3 世田谷  
 佐々木 1 米田〇  
 下園 1 中島〇  
 稲垣 1 立川〇  
 〇高津 1 松村  
 〇渡辺 1 小早志

一回戦で先鋒杉田選手反則負けとなった上に、二回戦以後の試合に対しても出場停止となり、ポイントゲッターを失った。  
 今年こそ上位と意欲に燃えた、練馬代表選手団も、三回戦で敗れ、上位進出を果すことが出来なかった。(横山)

**アーチェリー**

六月三日 駒沢第一球技場

参加 二十八区郡市  
 練馬区  
 井上純志 二七五点(五十米)  
 三三〇点(百米)  
 堀内 知 二七三三(五十米)  
 三〇〇点(百米)  
 大蔵文子 一九八八(五十米)  
 二七七七(百米)

競技は一チ、三名編成で五〇米、三〇米の各距離から三六射、計七二射づつ行い、その合計点で順位を競う内容。  
 井上、堀内とも自己最高点をマーク、善戦したが大蔵が予想外の不振で後退、上位進出がならなかった。(落合)

**陸上競技**

五月二十七日 駒沢競技場

参加 三十九区郡市  
 七種目に参加、予選通過者なし  
 駅伝

六月三日 狭山湖一周

参加 二十七区郡市

第七位 入賞  
 監督 篠原 庸雄  
 選手 吉田 輝彦  
 井上 力  
 安部 武良  
 母下 正文  
 篠山 俊夫  
 大沼 雅宏

**バドミントン**

五月二十六日、二十七日

六月二日 駒沢屋内球技場  
 参加 男子四十六区郡市  
 女子四十五区郡市

男子

一回戦練馬 2-1 荒川  
 二回戦練馬 1-2 目黒

女子

一回戦 シード  
 二回戦練馬 2-1 大田  
 三回戦練馬 1-2 世田谷

<p>高田スポーツ店</p> <p>練馬区東大泉町936 TEL (922) 3343</p>	<p>バッチ・カップ・トロフィー</p> <p>中外徽章株式会社</p> <p>社長 吉田 雄二 TEL (955) 1563</p>
---	---

バスケットボール

五月二十七日・六月二日・三日  
駒沢公園体育館

参加 男子 三九区郡市  
女子 二七区郡市

男子  
一回戦 練馬79-69渋谷  
二回戦 練馬54-64港

女子  
一回戦 練馬74-20青梅  
二回戦 練馬78-58八王寺  
三回戦 練馬42-55品川

六月三日・S.K.B成田射撃場  
参加 トランプ三八区郡市

総合成績 スキー上二九区郡市  
練馬区◎第五位

トランプ  
笠原幸蔵 四四点  
松本治三郎 三七点

村田陽志夫 三八点  
福田 穂 四四点  
計一六三点

スキー  
東 陸之助 三九点  
奥田 弘三 四四点

若林 巖 四一点  
計二四四点

銃剣道 ◎総合第四位  
六月三日 上野中学校体育館

参加 十八区郡市  
予選リーグ A組 練馬、板橋

B組 中央、新宿  
準決勝

練馬 1-2 板橋

二位決定

練馬 1-2 新宿  
ローラースケート

◎総合 第三位  
六月四日-八日 五日間

後楽園ローラースケートリンク  
参加 二六区郡市

一回戦 シード  
二回戦 練馬 9-2 足立  
三回戦 練馬 9-2 板橋

準決勝 練馬 5-3 豊島  
決勝戦 練馬 2-5 文京

第二位  
スピード  
五〇〇米 第五位 中村朝夫  
第九位 山田和郎

リレー  
第三位 練馬(中村・豊田)  
フィギュア

第二位 小山吉男 二八・三  
第二十二回大会より参加したロー  
ラースケート競技は今回で十二回  
目の参加となります。この間、練  
馬区は優勝六回、二位一回と抜群  
の成績を残しております。二連覇  
七回目の優勝をめざし、各選手よ  
く健闘したものの、スピード陣の  
不調、特に三〇〇〇米での得点セ  
ロが最後までひびき、三位に後退  
してしまいました。

得点種目への昇格は、参加二六  
区郡市を達成、来年からの昇格を  
決まっています。

来年こそ再び優勝旗を奪回し、練

馬区のため、大いに頑張りたいと  
思っております。(野口)

自転車  
六月十日、立川競輪場  
参加 二四区郡市 一七〇名

競走車  
一〇〇〇米タイムトライアル  
1位 斎藤邦夫  
2位 富田敏彦

ミスアンド・アウトレース  
3位 富田敏彦  
ポイントレース  
1位 斎藤邦夫  
5位 井上由大

・実用車  
二四才以下二二〇米速度競走  
2位 島本雅章  
三五才以上四〇〇米 速度競走

4位 山崎 深  
◎総合成績 第三位  
総評

前年の総合成績に比べ、男・女  
とも大巾に降り、不本意な成績に  
終わった。その原因は、競走の悪か  
ったことが大きくあげられるもの  
で、いくつかの競技が、もつ一步  
の頑張りで得点出来た所であった。  
柔道の優勝は、練馬区の名を全都  
にわたらしめ、第三十二回大  
会の白眉と云えよう。之に続いて  
未加盟団体ではあるが自転車競技  
の第三位、こで九点と云う、大  
量点を練馬区にもたらしてくれた  
ことは、特記すべきことだ。以下  
クレーの七点、駅伝の五点、総得

点四十八点の七一%の三十四点を  
四種目であげていることを明記し  
ておきたい。

他の十四種目がもう少し頑張っ  
ていたとするならば、前年の成績  
は維持出来たと考えられる。

女子に於ては、今年はずバスケッ  
トボールのみが五・五の得点と云  
う寂しい結果に終わった。

各競技団体とも、これからの一  
年、競技力の向上に力を入れ、来  
年は一点づつの増を目標に頑張っ  
てほしい。ローラーの得点種目と  
しての参加を考える時、十位内へ  
の上昇も男子に於ては決して夢で  
はない。各種目の奮起を望む次第  
です。(野の嘉郎)



<p>長谷川建築設計事務所 板橋区中台 3-26-13 TEL(935)3217</p>	<p>家庭用品製造発売元 コスター株式会社 石神井町 7-5-7 TEL(996)4448</p>	<p>長瀬ゴム工業(株) 墨田区墨田 2-35-6 TEL(614)3501</p>	<p>野球&amp;テニス・ショップ メコー・スポーツ 石神井公園銀座通り TEL(995)1851</p>
--	---	--	--

# 第二十八回城北五区柔道大会

練馬区二ヶ年連続  
通算十五回目の優勝

第二十八回大会は六月十日午後一時より荒川区立第五中学校体育館で開催された。  
九月落成を終えたばかりの真新しい近代的なこの体育館は、荒川堤の〇米地帯に建てられている。



副将 川島三段 優勝旗をうける

体育館にはめずらしく低い所にうつらうつらと涼しい風が場内を通り抜けてくる。熱気あふれる雰囲気をやわらげられた。

まず前年優勝の練馬区から優勝旗

が返還された。  
試合は各チーム共、構成十五名

- 初段 七名
- 二段 五名
- 三段 二名
- 四段 一名

第一戦  
練馬区 11-0 北区

佐藤監督の作戦が見事に当り、前半から連続連勝、心理的にすっかり有利に立ち上った。この自信が後の試合をも有利に導いたと云えよう。

第二戦

練馬区 5-4 荒川区

地元荒川区は、選手強化に力を入れ、意欲充分、大激戦となった。大将戦までの十四試合までは、一進一退のシーソーゲームで同点、両大将間で雌雄を決する結果となった。

都民大会優勝、前年の優勝と云う自信と本大会優勝への強い意欲に燃え、大将戦は見事に一本勝ちで決勝へ進出した。この試合が事実上の決勝戦とも云える内容だった。

決勝戦

練馬 5-3 板橋区

前半五対〇と大きくリード、後半にポイントゲッターを揃えた板橋に追撃を許さず四将以下が引分けで逃げ切った。

この大会は、城北柔道会から、各区柔道会創立と発展した昭和二十七年に第一回大会が開催されてい

る。日本選 大会に優勝、日本を代表する神永、坂口選手等も、又柔道会の幹部の諸先生も沢山の出場経験をもつ由緒ある大会である。末尾ながら、練馬区教育委員会に対し、感謝とお礼の言葉を申し上げます。

〇練馬区代表選手団

監督 佐藤幸夫 五段

選手

大将 内 四段

副将 川島 三段

三 菱木 二段

四 片波見 二段

五 小林 二段

六 久木原 二段

七 小林 二段

八 鶴崎 初段

九 中野 初段

十 石會根 初段

十一 田中 初段

十二 佐々木 初段

十三 竹内 初段

次峰 大西 初段

先峰 玄馬 初段

補員 松崎 二段

山本 二段

永田 初段

〇技能優秀賞

竹内初段・玄馬初段

〇尚、補員の永田選手は、田中選手の負傷後、決勝で活躍した。

(市毛富士穂)

<p>東松館 剣道場</p> <p>館長 榎本松次</p> <p>石神井町1-11-32</p> <p>TEL(997)6241</p>	<p>練馬 剣友会</p> <p>紙田吉太郎</p> <p>小竹町1-21</p> <p>TEL(956)2513</p>	<p>品川電線株式会社</p> <p>小竹町1-8</p> <p>TEL(955)1171</p>
--	---	---

# 第四回 幹部研修会

第四回、区体育協会、幹部研修会

は、六月十六日(土) 十七日(日)

二日間にわたり、秩父市・農園ホ

テルに於て区体協幹部 四十二名

(十九団体代表) 区教委より岩波

教育長以下九名、計五十一名が参

加して行われた。

十六日

午後三時三十分 開講式

○前田副会長 挨拶

岩波教育長 挨拶

野口総務部長より説明

都民大会成績

分散会 全体会議

○午後四時 分散会

式典・表彰部会 十四名

記念誌編集部会 十八名

記念事業部会 十五名

○午後六時三十分 懇談会

小口会長の挨拶について、成

田体育課長の音頭で乾杯、八時三

十分まで行われた。

○アトラクションとして郷土芸能

「秩父はやし」が出演、勇壮な大

太鼓の響きが、秩父の山々にひび

きわたった。

十七日

午前九時 全体会議



開講式で挨拶する岩波教育長

前田副会長より事業部報告

山下広報部長より記念誌部会

の報告

野口総務部長より式典・表彰

部会の報告がなされた。

全体のまとめ (野口)

○三十年の歴史をふまえ、我々区

体協は、ますます加盟団体間の

融和をはかり、組織の強化と相

互扶助の体制をもって、次の課

題である地域体育会創立に進ま

ねばならない。

○又一面、各競技とも、競技上の

向上に力を入れ、都民大会の成

績を一步でも上昇させる努力を

忘れず、第三十三回都民大会に

向ってほしい。

○区教委・区体協共催、競技団体

主管の新方針による区民スポー

ン教室が一応の成功を収めたと

云えましょう。今後も、尚一層

の努力により、区民に広くスポ

ーンの場とその楽しさを与えて

下さい。

○体協傘下の各団体とも、それぞ

れ多少の悩みがないとは云えな

い。又、前進にも、飛躍にも、

色々と問題が生じてくる。これ

らを体協全体で考え、協力しあ

い、より一層の発展を図るため

の協力をすすめたい。

三十年の道をふりかえり、ここに

全体の方の結集を図り、四十年、

五十年に向けて休むことのない練

馬体協の大行進を再び開始しよう

ではありませんか。(野口)

## 第二十二回

### 城北五区剣道大会

総合二位

高校・一般の部優勝

第二十三回大会は六月三日、練馬

区総合体育館に於て、板橋、豊島

北、荒川、練馬の代表二〇〇名の

剣士が参加して開催された。

中学生の部(リーグ戦)

1位 板橋区 四勝

2位 荒川区 三勝一敗

3位 北区 二勝二敗

4位 練馬区 一勝三敗

5位 豊島区 〇勝四敗

高校生の部

1位 練馬区 三勝一敗

2位 板橋区 三勝一敗

3位 北区 二勝二敗

4位 豊島区 一勝三敗

5位 荒川区 一勝三敗

※ 同率のチームに対する順位決

定は、本数上位が優先する。

一般の部

1位 練馬区 四勝

2位 荒川区 三勝一敗

3位 豊島区 二勝二敗

4位 板橋区 一勝二敗

5位 北区 〇勝四敗

総合

1位 板橋区

2位 練馬区

3位 荒川区

4位 豊島区

5位 北区

<p>徳山 靖</p> <p>練馬区春日町4-36-10</p> <p>TEL (999) 1348</p>	<p>ライフル射撃用品販売</p> <p>(株) 兵林 館</p> <p>千代田区小川町3-10</p> <p>TEL (291) 9346</p>	<p>信州・木島平スキー場</p> <p>大和観光興産株式会社</p> <p>社長 中井川 二郎</p> <p>練馬区土支田2-16-6</p> <p>TEL (921) 6211</p>
--	--	--

# 練馬区体育協会

## 会長会が誕生・発足す

本協会に求められて来たものは、加盟団体の力の結果であり、その総合力によっての全スポーツの頂上に立つ運営にあった。

三年前より、この点に対し執行部は正面から取り組み、ようやくのことで団体間の相互の理解、友好協力の体制づくりが出来上って来た。この努力の継続により、各団体間の垣根もとりはられ、利益団体代表的な発言も少くなり、体協一本としての事業に又、施設利用の方向も定着した。と同時に、創立三十周年を契機に加盟団体会長間の横の連絡体の設立が進められた。去る六月二十九日(金)設立のための第一回会長会が開催され、全ての懸案事項が万場一致で承認され、練馬区体育協会を支援する大きな力が見事に開花した。本協会の基盤はいよいよ強固に、又ここに集う全団体の力は大きな力となり、創立三十年を境に我々協会は、大きく空にむかって羽ばたくことになった。

### 団体会長

副会長 奥山 則男

野球 上野 定雄

庭球 平野 一男

剣道 榎本 松次

柔道 杵淵 政光

弓道 尾形 聖吉

バスケット 滝沢 栄吉

卓球 吉田 公一

サッカー 佐々木光雄

スキー 寺崎 武

陸上 台田 友夫

クレール 鶴岡 正雄

ライフ 大橋 静男

バドミントン 平田登志郎

バレーボール 山田左千夫

アチェリ 落合 忠士

銃剣道 嶋田 賢一

ローラー 野口 嘉郎

空手道 土佐 邦彦

相撲 矢崎 久雄

アイス 水野 宥生

第一回会長会では本会の目的、構成役員、運営経費、定例会議、体協への協力の諸事項を決定した。

役員として

幹事長 矢崎久雄氏

副幹事長 杵淵政光氏

〃 榎本松次氏

を万場一致で推薦、本会の世話人の選出を終った。

### 目的

練馬区体育協会に加盟する団体間の友好親睦、相互理解を計ると共に、区体協の運営を支援するための懇心連絡会とする。

### 定例会

第1回 六月

第2回 十二月(懇心会)

第3回 二月

その他、区体協の公式事業(の参加)

### 経費

各団体代表者として年間二万円を会費として徴収、本会の運営費、並に区体協の助成金に当てる。(後記)

会長会が小口体協会長を中心とする執行部に、岩波教育長を長とする行政の全面協力、加えるに体協副会長の席にある奥山都議又、区議会で榎井議長、矢崎、上野、山田、大橋区議が顔をそろえ、二十六名の構成メンバーが出来上った。この強力なスタッフの支援により、まず今秋の創立三十周年記念式典、事業化に向けて本協会は、力強く、第一歩をふみだすことになった。(野口嘉郎)

### 創立三十周年記念事業

#### 式典、表彰、事業記念誌、財務、四委員会を中心

にスタート

本協会は今秋、創立三十周年を迎えることになりました。そこで四月の理事会に於て記念事業実施を可決、四委員会を設置して、それぞれ分担任務に向けてスタートした。

○式典、表彰委員会 (野口)

十一月月上旬を予定し、記念式典の開催、並に特別表彰に関する企画、執行を担当する。

○記念誌委員会 (山下)

本協会、三十年の歩みを一冊の本にとりまとめると共に、加盟団体の紹介等を入れる。

○事業委員会 (寺崎)

会長会の発足・水泳連盟の再建

・スポーツ少年団の設立

・ラジオ体操連盟の加盟等、三十年を記念しての各事項を実施する。

○財務委員会

上記、三委員会が企画から実施までに要する資金の確保にあて

る。

予算 三〇〇万円

二度にわたる委員会、並に研修会での分科会での討議により、その方針が決定され、各委員会とも、具体的にその行動が開始された。

トロフィ・カップ・記章 東京工芸堂 世田ヶ谷区中町2-6-26 TEL(701)0917	真栄整骨院 奥田真輔 旭町3-32-19 TEL(930)4755	剣道具一式製造 (株)宇多川 石神井町5-23-11 TEL(995)2345	やすらぎの発祥地 アモン 豊玉北5-18 TEL(994)2551-2
---	--	--	--

# 第十二回練馬区家庭婦人バレーボール大会

P・T・Aで大泉小・大三小

クラブでK・V・C。ひかりが優勝

第十二回大会は、六月十七日、二十四日、七月八日の三日間にわたり、区立総合体育館に於て、P・T・Aの部、三十一チーム・クラブの部、二十九チーム・計六十チームが参加して開催された。

主催 区教育委員会  
共催 区体育協会

主審 区体育指導委員会  
区バレーボール連盟  
家庭婦人協議会

P・T・Aの部

◎Aブロック

石神井東	2-1	大泉四
仲町	2-0	豊玉二
豊漢	2-1	高松
大泉六	2-1	南町
小竹	2-0	練馬三
富士見台	2-1	向山
上石神井北	2-1	開進二
二回戦		
大泉小	2-0	石神井東
仲町	2-0	豊漢
小竹	2-0	大泉六
富士見台	2-0	上石神井北
準決勝		
大泉小	2-0	仲町
小竹	2-0	富士見台
決勝(関谷)		
大泉小	2(121)	小竹
	21(101)	0

相沢、富川、清水の大砲三門を揃える大泉小は、右から左から強烈なスパイクをきめ、終始圧倒的課題なく勝利を握った。対する小竹はレシーブ、連系プレーにミスが目立つ一方、攻撃にきめ手がなく、自滅の感があった。

◎Bブロック

豊玉	2-0	大泉学園
練馬二	2-1	開進一
立野	2-1	石神井
南が丘	2-1	北町
中村	2-1	早富
豊玉南	2-0	中村西
旭町	2-0	大泉一
大泉三	2-0	田柄二
二回戦		
練馬二	2-0	豊玉
南が丘	2-1	立野
豊玉南	2-1	中村
大泉三	2-0	旭町
準決勝		
南が丘	2-1	練馬二
大泉三	2-0	豊玉南
決勝(持原)		
大泉第三	2(121)	南が丘
	14(8)	0

飯沼と云うミサイル攻撃を中心に攻める大泉小は、試合の主導権を握り、南が丘を打ち勝った。

クラブの部

◎Aブロック

NKC	2-0	旭町
附属大泉	2-0	つくし
豊玉	2-0	みつば
高松	2-0	みどり小
大泉二	2-0	茜
大西小南	2-1	こぞし
石神井	2-0	田柄
二回戦		
KVC	2-0	NKC
豊玉	2-1	附属大泉
高松	2-0	大泉二
石神井	2-1	大西小南
準決勝		
KVC	2-0	豊玉
石神井	2-1	高松
決勝(関谷)		
KVC	2(121)	石神井
	13(10)	0

両チーム間の力の差は少なく、接戦が予想されたが、予想外の大差で、KVCの楽勝に終わった。KVCの勝因は、セッターのトスマわしが抜群で、攻撃につながったこと、バックの平均した力と云えよう。

◎Bブロック

南大泉	2-0	谷原
小竹	2-0	すみれ
いずみ同	2-0	練馬東
芙蓉	2-0	八坂
マスカット	2-1	まごか
わかば	2-0	平和台
二回戦		

南大泉	2-0	南田中
小竹	2-0	いずみ同
芙蓉	2-0	マスカット
わかば	2-0	わかば
準決勝		
南大泉	2-0	小竹
わかば	2-0	芙蓉
決勝(相次)		
わかば	2(121)	南大泉
	11(11)	0

ひかりは平均した攻撃力を左右に配しており、全体のまとまりもよく、南大泉を一方的に降した。準決勝で、善戦敗れたとは云え芙蓉の健斗を特記しておこう。特別表彰(五十才以上の参加選手)

長谷川ヒロ子(まごかクラブ)  
荒川 和子(豊玉クラブ)  
高色 ひさ子(石神井クラブ)  
桜井 志津子(小竹クラブ)

総評

本年二月、練馬区家庭婦人バレーボール協議会が発足、初の自主運営の大会として各方面から注目された。

発足後、わずかに五ヶ月、加えて家庭婦人のみの集りと云う特殊性にもかかわらず、その弱点を逆に長所として生かし、見事にこの大会を完全な運営下に主管し、大成功を収めた。本大会での関谷委員長、石川総務委員長、全委員の努力に心か、感謝を表します。この実績と、尚一層強

固なものとして、バレーボール界のために邁進下さることをお願いたします。

最後に、家庭婦人の大会として、成績順位の表彰と共に、何か新しい表彰基準を設置し、さわやかな、ほぐましい一駒も大会の中に出れば、尚一層の励みとなることでしょう。(野口嘉郎)

前副会長

内田庄作氏死去

本協会、副会長・区練馬区陸上競技協会・会長として永年体育行政の先頭にたつて、ご尽力下さった内田庄作氏が、二十七日、午前五時三十分、死去された。告別式は二十九日、正午から一時まで自宅で行われ、区体協より小口会長が弔辞を朗読、故人の大きな遺徳をしのんだ。町内始め、区・区議会・体協関係者多数が会葬、盛大な葬儀だった。

故内田庄作氏

区体協副会長

昭和三十四年～五十一年

区陸上競技協会会長

昭和三十四年～五十一年

発行 東京都練馬区中村北一  
一九二〇区教育委員会内  
練馬体育協会  
代表 小口 政雄  
編集 野口 嘉郎